

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

令和5年11月15日

釧路市議会議長 畑中 優周 様

会派名 自民市政クラブ

代表者名 草島 守之



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	齋藤 賢之
出張先	① 大阪公立大学 (堺市) ② 大泉町
期間	令和5年11月8日～令和5年11月10日 (3日間)
用務	①健康食品とエネルギー源の両面からその可能性について (大阪公立大学) ②外国人住民の生活実態の把握について (大泉町)
調査(研修)結果等の概要	別紙参照
備考	

注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。

2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

行政視察報告 ～大阪公立大学、群馬県大泉町～

➤ 見学者：

釧路市議会議員、齋藤賢之

➤ 日時・場所

✓ 大阪公立大学：令和5年11月9日 10：00～12：00・ユウグレナ研究室

✓ 群馬県大泉町：令和5年11月10日 10：30～13：30・大泉町役場

➤ 目的

✓ 釧路新産業創造研究会が主催する視察に参加し、本市に於ける新産業の可能性に対する知見を深め、関係する人脈を広げる

✓ 外国籍住民の多い大泉町を視察し、その課題や取組みについて理解を深め、本市でも増加が予想される外国人政策の一助とする

➤ 結果

✓ 大阪公立大学：農学博士で大阪公立大学中野長久教授はじめ、新産業研究会、釧路市産業振興部、(公益財団) 釧路工業技術センター、ライフマティックス(株)、(株)イーベック、(株)MOZU-Energy、(株)MOZU-Foodsらが同大ユウグレナ研究室にて、健康食品とエネルギーの両面からその可能性について議論された。また、今後具体的に釧路に係る誘致が実現できるかについても議論され。本視察によって多方面に人脈を構築する端緒となった。

✓ 群馬県大泉町：議運や多文化協働に加え、大半の時間を村山俊明町長と直接議論することができ、町の課題などについての理解を深めることができた。多国籍になるほど多言語化には限界があり、教育現場の共通語としては「日本語」と「英語」に集約されつつあること、犯罪の抑止や日本人とのトラブル回避には、行政がきめ細かく「顔の見える」活動を徹底している。

➤ 今後

✓ 大阪公立大学：今後の同研究会の動向に参画し、釧路への新産業誘致に微力を尽くしたい。

✓ 群馬県大泉町：地方における外国人のモデル地域であり、情報交換や連携を強化したい。

(以上、文責：齋藤賢之)